

# Code Orange

第64号

## 平成30年度近畿地方DMATブロック訓練 2019年2月3日

平成30年度近畿地方DMATブロック訓練に中本医師、松本・岩崎看護師、吉田・魚澤業務調整員で参加しました。近畿ブロック訓練とは大規模災害発生時において、近畿府県のDMATを中心とした医療機関との連携・協力、迅速な医療救護活動が行えるよう、平成22年度から近畿各府県の持ち回りにて年1回、実施しており、今回は京都府が担当でした。参集拠点である京都府の京都岡本記念病院にDMAT Carにて実災害に沿った資器材を準備、積み込み、陸路にて8時ごろ到着しました。一旦指示を待ち、数分後、乙訓・山城DMAT活動拠点の京都岡本記念病院の拠点化に従事するように指示を受けました。活動拠点での初期の活動方針は『活動拠点の拠点化』『参集DMATの配分・活用』『管轄医療圏の医療負担の軽減』であり、この3点が明確に提示されており、迷いなく活動できました。拠点化するにあたり内容を熟知している隊員が多くおり、活動自体に問題はありませんでした。しかし、まだまだ、各々が勉強する必要があることを感じました。大阪急性期・総合医療センターのDMATとして、災害に対応できるようさらに「ロジカ（ろじりょく）」を高めていきたいと思えます。



## G20大阪サミット大阪府国民保護共同実動訓練 2019年2月5日

G20大阪サミット開催に備え、大阪府と大阪市が合同で、消防、警察、自衛隊などの防災機関と医療機関の対処能力の向上及び相互の連携強化を図るため、インテックス大阪で国民保護共同実動訓練が行われました。医療班は、G20大阪サミットに関するイベント開催中のインテックス大阪で化学剤散布事案が発生した想定でその対応にあたりました。今回、参加したDMATは4チームでした。訓練では、救急によるトリアージが実施され、赤・黄色のテントに傷病者が搬送されるという流れで行われ、赤・黄色のテントに搬送された傷病者は、各エリアにいるDMATが治療にあたりました。私達のチームは救急隊のトランスポート隊と協力し全体の情報収集とドレナージにあたりました。今後、有事に備える為に、今回の訓練を通して、各機関が協働するだけでなく、それぞれの課題に対して、連携しながら取り組んでいく必要性を実感しました。今回学んだことをふまえて今後の災害対応に取り組むたいと思えます。

